

# 経口内視鏡と経鼻内視鏡の違い

## ■ はじめに

胃カメラ(上部内視鏡検査)には、口から挿入する「[経口内視鏡](#)」と鼻から挿入する「[経鼻内視鏡](#)」の2つの方法があります。

「どちらが楽なのか」「自分にはどちらが合っているのか」といったご質問を多くいただきます。

それぞれに特徴があるため、違いを理解してご自身に合った方法を選ぶことが大切です。

## ■ 経口内視鏡とは

口から内視鏡を挿入して行う、従来から広く行われている検査方法です。

### 特徴

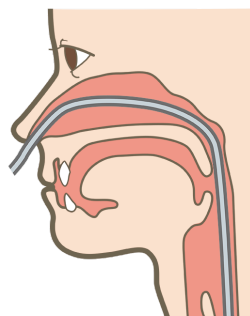
- 比較的太めのスコープを使用
- 鎮静剤を使用することが可能
- 詳細な観察や処置に適している

### メリット

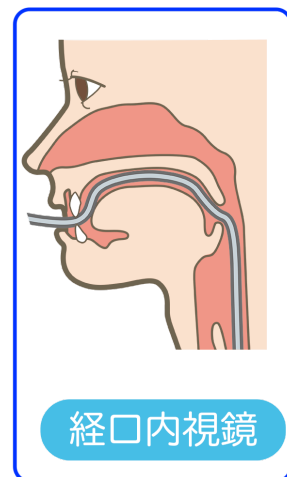
- 画質が良く、精密な観察が可能
- 必要に応じて組織検査(生検)や処置が行いやすい
- 鎮静剤を使用することで苦痛を軽減できる

### デメリット

- 舌の付け根に当たりやすく、嘔吐反射(オエツとする感じ)が出やすい
- 鎮静剤使用時は検査後に休憩が必要



経鼻内視鏡



経口内視鏡

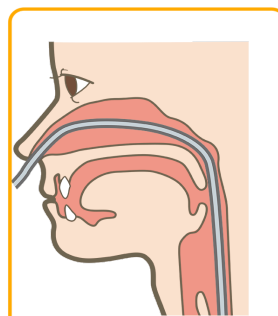
## ■ 経鼻内視鏡とは

鼻から細いスコープを挿入して行う検査方法です。

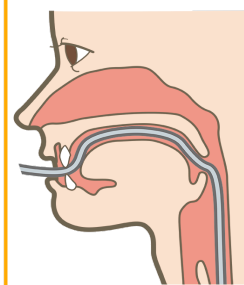
機器の進歩により、経鼻内視鏡でも高精細な観察が可能となっています。

### 特徴

- 細径スコープを使用
- 喉を通らないため嘔吐反射が起こりにくい
- 会話をしながら検査が可能



経鼻内視鏡



経口内視鏡

## メリット

- 苦痛が少なく、楽に受けやすい
- 検査中に医師と会話ができる
- 検査後すぐに帰宅可能
- 近年は画質も向上しており、経口内視鏡と遜色ないレベルで観察が可能

## デメリット

- 鼻の状態(鼻炎や花粉症などの炎症による鼻腔の腫れや元々鼻腔が狭いなど)によっては実施できない場合がある
- 検査後、鼻血が出やすい
- 経口に比べると操作性がやや劣る場合がある

---

## ■ どちらを選べばよい？

以下を目安に選択されることが多いです。

### 経口内視鏡がおすすめの方

- しっかりと精密検査を受けたい方
- 鎮静剤を使用して眠った状態で検査を受けたい方
- 過去に経鼻内視鏡が難しかった方

### 経鼻内視鏡がおすすめの方

- 嘔吐反射が強い方
- できるだけ楽に検査を受けたい方
- 検査後すぐに帰宅したい方
- 鎮静剤が使用できない方

---

## ■ 当院での検査について

当院では、患者さんのご希望や体調に応じて経口・経鼻いずれの内視鏡検査にも対応しています。

事前の診察で不安やご希望を伺い、最適な方法をご提案いたしますので、初めての方も安心してご相談ください。

---

## ■ まとめ

経口内視鏡と経鼻内視鏡は、それぞれにメリット・デメリットがあります。

大切なのは、「ご自身にとって無理のない方法で検査を受けること」です。

胃がんや胃の病気は、早期発見・早期治療が非常に重要です。気になる症状がある方、しばらく検査を受けていない方は、ぜひ一度ご相談ください。